

第四章 調査結果

本章では、調査の結果についてまとめる。

4-1 調査フェイズ1の結果について

調査フェイズ1の概要は表4-1のとおりである。一般的な郵送調査法と比べ回収率は非常に高いものになった。これは、被験者が特に環境意識の高い集団であったため、調査に対しても積極的だったと考えられる。回収できた回答のうち、明らかに内容の違う回答が1件、期間外のもが1件確認できたので、それらは無効として、有効回答数を66とした。

表4-1 調査フェイズ1全体の概要

被験者総数	156名
調査期間	平成14年11/25(月)～12/1(日)
送付日	11/20(水)
回収数	68
回収率	約43.6%
有効回答数	66

次に、被験者の「環境日めくり日記」の記述のサンプルとして表4-2を示す。サンプルとして、点数が平均点に近い被験者を選んだ。

表4-2 「環境日めくり日記」の取り組みサンプル1(40代・女性)

	探せた項目	達成度
つ た い な い な さ を 知 る	水の出しっぱなしはもったいない	★
	電気のつけっぱなしはもったいない	
	テレビのつけっぱなしはもったいない	★
	暖房してるのにドアの開けっぱなしはもったいない	★★
	続けてお風呂に入らないのはもったいない	
	買い物袋を持参する	★★
	衝動買いをやめる	★
	進物品の過剰包装をやめてもらう	★★
	必要以上のローンは利用しない	
	再利用出来る物はする	
恵 み	野菜は出来るだけ家で取れた季節野菜を使う	★★
	洗濯は朝してすぐ干す	★★
	天気のいい日は布団を干す	
旬 の も の	大根をいただく	
	人参をいただく	★★
	白菜をいただく	
	みかんをいただく	★★
	柿をいただく	★★
知 恵 袋	りんごは皮をむいたら塩水につけると赤くならにくい	
	調味料は「さしすせそ」の順に使う	★★
	ゆで玉子は古い物から利用すると皮がむきやすい	★
	青葉をゆがく時は塩を入れると色がきれいになる	
	竹の子の「アク」取りは米のとぎ汁でゆがく	
の ん び り	電話ではなく、たまには手紙を書く	
	テレビを切って本を読む	★
	何かしながらではなくちゃんと子供と遊ぶ	★★
花 鳥 風 月	空を眺めて曇や月や星を見してみる	★
	散歩して回りの景色を眺める	
	庭の木や花を見て季節の変化を知る	★★

各格言について、概要を表 4-3 のようにまとめた。(想起平均数は一人あたりの想起した数を表す。想起種類数は想起された内容を種類別に分けた数を表す。達成平均数は一人あたりの想起された内容が達成された数を表す。平均点は一人あたりの得点を表す。)

表 4-3 調査フェイズ 1 の「環境日めくり日記」の概要

	想起平均数	想起種類数	達成平均数	平均点	最高点	最低点
もったいない	4.3	47	5.1	54.2	100	11
足るを知る	3.4	57	4.0	43.0	100	2
恵み	3.2	55	3.6	39.2	100	0
旬のもの	3.5	27	4.4	46.8	100	0
知恵袋	3.1	56	2.9	32.6	100	0
のんびり	2.8	45	2.8	31.1	100	0
花鳥風月	2.7	42	2.6	28.8	100	0

：一番大きい値 ：一番小さい値

想起平均数をみると、1 週間の前半の 4 つの格言と後半の 3 つの格言では、前半のほうが想起しやすい結果になった。また、達成平均数も平均点も想起平均数の数に応じて高い値を示している。

さらに、各格言がどの程度取り組まれたかを把握するには、得点ヒストグラムが参考になる(図 4-1～図 4-7)。

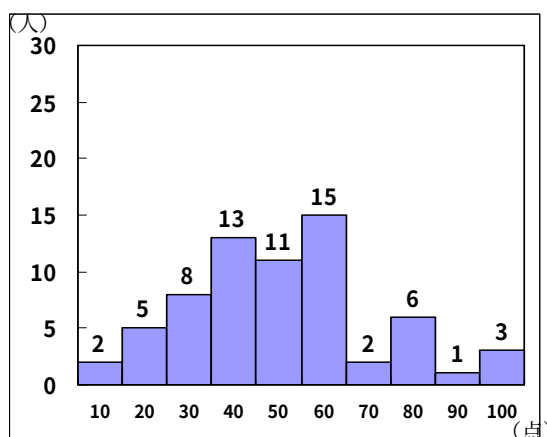


図 4-1 調査フェイズ 1 における「もったいない」の得点ヒストグラム

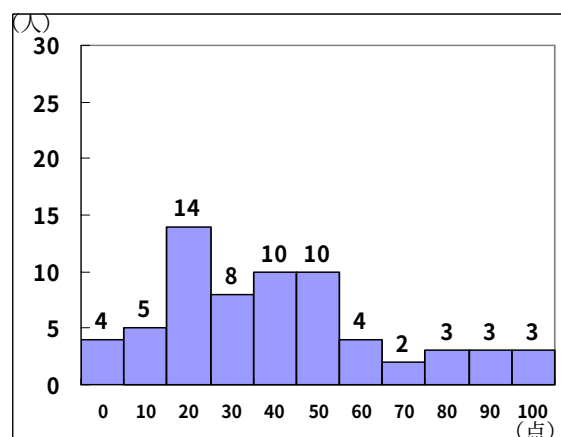


図 4-2 調査フェイズ 1 における「足るを知る」の得点ヒストグラム

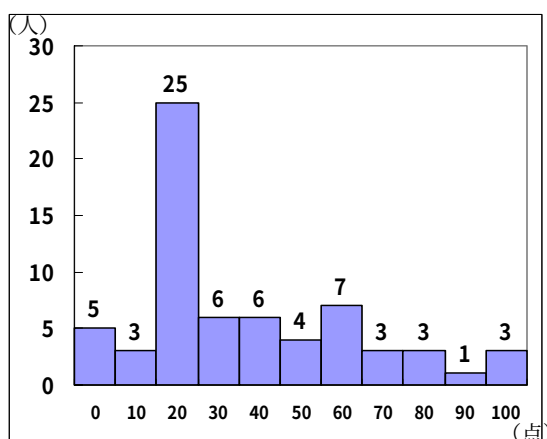


図 4-3 調査フェイズ 1 における「恵み」の得点ヒストグラム

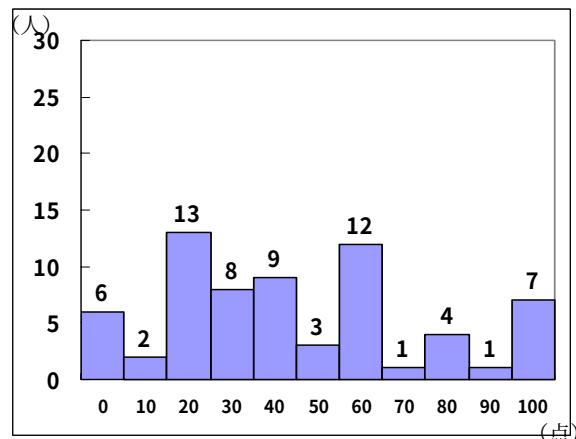


図 4-4 調査フェイズ 1 における「旬のもの」の得点ヒストグラム

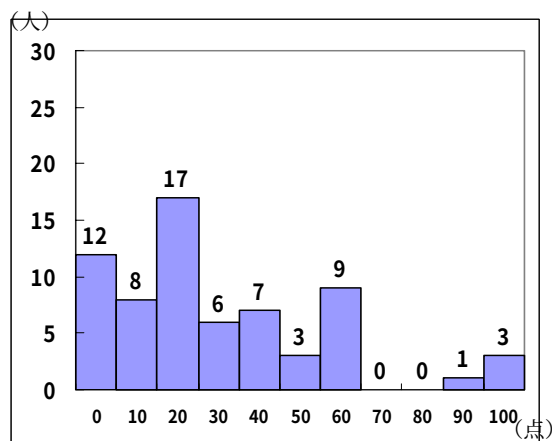


図 4-5 調査フェイズ 1 における
「知恵袋」の得点ヒストグラム

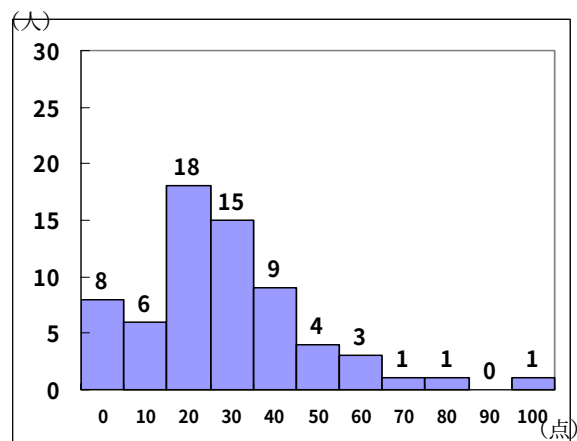


図 4-6 調査フェイズ 1 における
「のんびり」の得点ヒストグラム

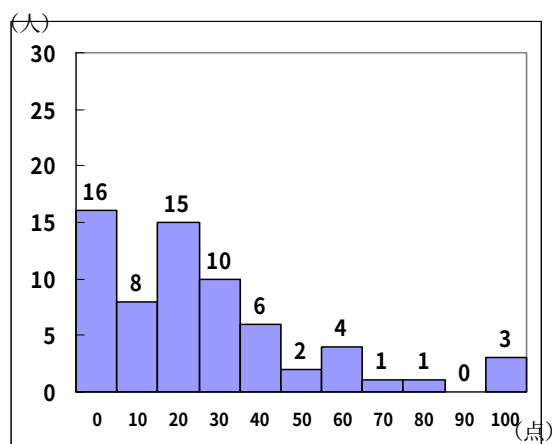


図 4-7 調査フェイズ 1 における
「花鳥風月」の得点ヒストグラム

前半の 4 つの格言は 20 点から 80 点の間で山ができるような得点分布になっているが、後半の 3 つの格言は低い得点から右肩下がりの得点分布になっていることがわかる。このことからわかるように後半の 3 つの格言は被験者にとっては取り組み難い格言であったことがわかる。

環境行動チェックシートについては、ほとんどの被験者が調査以前と調査中もチェックの記録が変わることがなかったので、今回は比較の対象とする資料としては用いないことにした。すでに被験者の中で、継続的に取り組まれている内容になっているため、今回の調査が変化する要因にはなり得ない。(この環境行動チェックシートは、どれだけ定められた環境配慮行動の枠を越えられるかを分析するための資料として用いることにした。)

4-2 調査フェイズ2の結果について

調査フェイズ1の結果が送られてきた段階で調査フェイズ2には参加しない意思を示された方が1名おられた。また、調査期間に入ってから封筒が届いた方が1名おられた。よって、調査フェイズ2では被験者として調査の封筒を郵送したのは66名とした。後者の1名については、後日、日を改めて調査することにし、データとしては扱わないことにした。調査フェイズ2の全体の概要は表4-4のとおりである。

表4-4 調査フェイズ2全体の概要

被験者総数	66名
調査期間	平成14年12/16(月)～12/22(日)
送付日	12/12(木)
回収数	47名
回収率	約71.2%
有効回答数	47名

被験者の「環境日めくり日記」の記述のサンプルとして表4-5を示す。サンプルとして、点数が平均点に近い被験者を選んだ。

表4-5 「環境日めくり日記」の取り組みサンプル2(40代・男性)

	採せた項目	達成度
も つ た い な い	誰もいない部屋の電気は消す	★★
	テレビ、ビデオの待機電力を消す	★★
	風呂の残り湯を洗たくに使う	★★
	食事の残りは捨てずに犬にやる	★
	風呂には家族が続けて入るようにする	
足 る を 知 る	近くの用事は車を使わず、歩くか自転車で	★★
	飲みすぎない、食べすぎない	
	衝動買いをしない	★★
	シャンプーは詰めかえ方式のものをかう	
恵 み	食事の時に自然の恵みに感謝して食べる	★★
	いつでも水が飲める、使えることに感謝する	★★
	古からの伝統に感謝する	
旬 の も の	ミカンを食べる	★★
	カキを食べる	★★
	白菜、大根を使ったナベ料理を食べる	★★
	冬の星座を見る	
	ゆったりした気持ちで年賀状を書く	
知 恵 袋	米のとぎ汁を庭木にやる	★★
	猫よけに庭にコーヒーかすをまく	★★
の ん び り	好きな音楽を聴く	★★
	読書をする	★
	犬の散歩に行く	★★
	ゆっくり食事をする	★
	昼寝をする	
花 鳥 風 月	散歩しながら山や空、野鳥、草花を眺める	★★
	冬の星座を見る	★★
	琵琶湖の水鳥を見る	

各格言について概要を表 4-6 のようにまとめた。

表 4-6 調査フェイズ 2 の「環境日めくり日記」の概要

	想起平均数	想起種類数	達成平均数	平均点	最高点	最低点
もったいない	4.0	46	5.9	63.2	100	11
足るを知る	3.6	49	5.5	59.0	100	2
恵み	3.3	60	5.0	52.0	100	0
旬のもの	3.7	34	5.6	58.5	100	0
知恵袋	3.4	49	3.6	39.3	100	0
のんびり	3.4	54	4.7	49.8	100	2
花鳥風月	3.3	48	4.4	47.7	100	0

：一番大きい値 ：一番小さい値

想起平均数をみると、調査フェイズ 1 と同様に、1 週間の前半の 4 つの格言と後半の 3 つの格言では、前半のほうが想起しやすい結果になった。

調査フェイズ 1 と調査フェイズ 2 を比較すると、想起平均数も達成平均数もあまり変わっていないが、平均点が上がっていることがわかる。

さらに、各格言がどの程度取り組まれたかを把握するには、得点ヒストグラムを参考になる（図 4-8～図 4-14）。

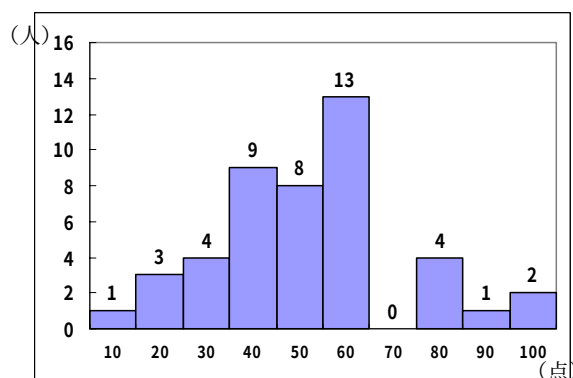


図 4-8 調査フェイズ 2 における
「もったいない」の得点ヒストグラム

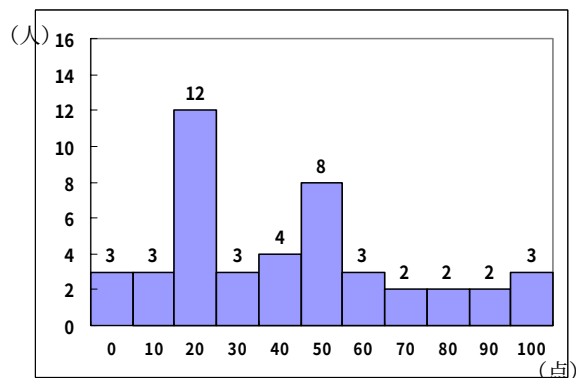


図 4-9 調査フェイズ 2 における
「足るを知る」の得点ヒストグラム

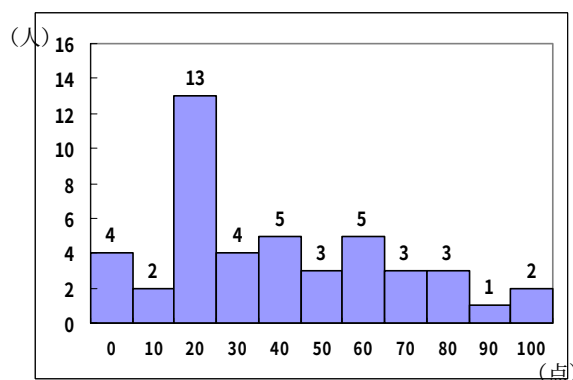


図 4-10 調査フェイズ 2 における
「恵み」の得点ヒストグラム

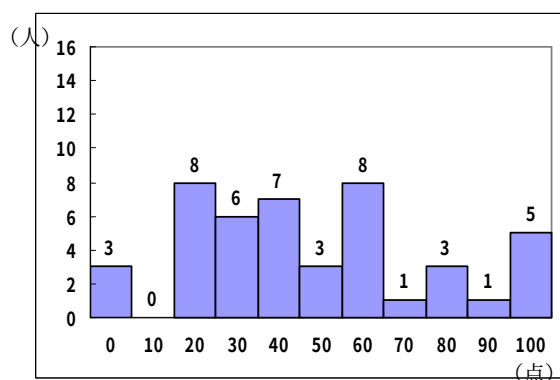


図 4-11 調査フェイズ 2 における
「旬のもの」の得点ヒストグラム

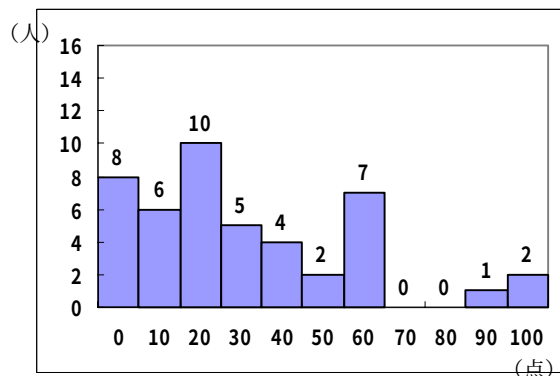


図 4-12 調査フェイズ 2 における
「知恵袋」の得点ヒストグラム

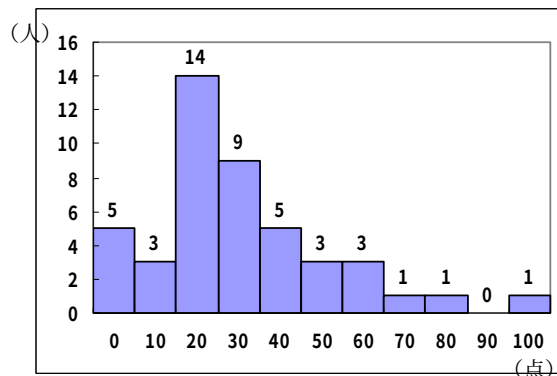


図 4-13 調査フェイズ 2 における
「のんびり」の得点ヒストグラム

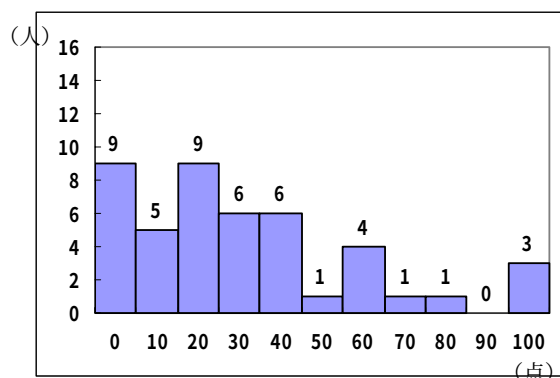


図 4-14 調査フェイズ 2 における
「花鳥風月」の得点ヒストグラム

後半の 3 つの格言は低い得点から右肩下がりの得点分布になっていることがわかる。このことからわかるように 2 回目でも、後半の 3 つの格言は被験者にとっては取り組み難い格言であったことがわかる。

環境行動チェックシートについては、調査フェイズ 1 と同様にほとんどの被験者が調査間と調査中もチェックの記録が変わることはなかったので、今回は比較の対象とする資料としては用いないことにした。すでに被験者の中で、継続的に取り組まれている内容になっているため、今回の調査が変化する要因にはなり得ない。(この環境行動チェックシートは、どれだけ定められた環境配慮行動の枠を越えられるかを確かめるための資料として用いることにした。)

4-3 アンケートの結果について

ここでは、どんな被験者に調査に協力してもらったのかを把握するために、実施したアンケートのうち、被験者の属性と『地球人』のすすめ』に関する結果をまとめる。回収できたアンケートのうち、有効回答は 45 件だったので、アンケートの母数は全て 45 である。

4-3-1 被験者の属性

アンケートに回答してくれた被験者の 7 割弱を女性が占めている（図 4-15）。これは環境家計簿の取り組みという性格上、家計のやりくりを中心に行っている主婦が多いためであると推測できる。また、主婦が職業の半分以上の割合をしめていることからみてもそう判断できる（図 4-16）。

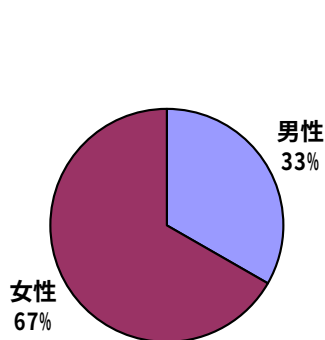


図 4-15 被験者の性別

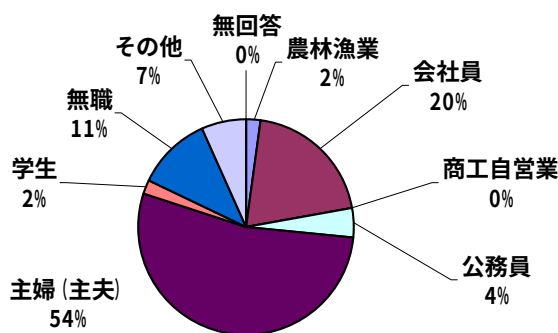


図 4-16 被験者の職業

年代は 8 割近くを中年以上で占めており、60 代がその半数を占めている（図 4-17）。居住形態は一戸建てが 9 割弱を占めている（図 4-18）。

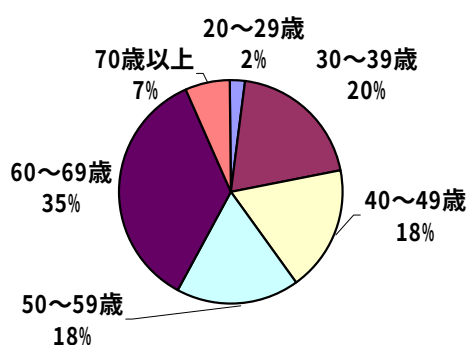


図 4-17 被験者の年代

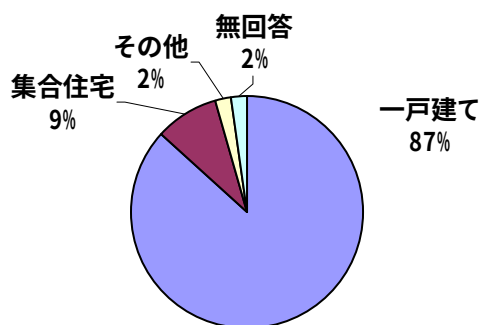


図 4-18 被験者の住居形態

4-3-2 被験者の「『地球人』のすすめ」の取り組み状況

アンケート回答者の「『地球人』のすすめ」の取り組み状況は、現在も継続的に取り組んでいる人の割合が6割である（図4-19）。また、記入をやめた人の内、「取り組みが習慣化したため、記入する必要を感じなくなったから」を理由として選んだ人を合わせると、環境配慮行動を日常に実践している人の割合は7割を超えることになる。このことから、被験者たちは環境家計簿の活動に参加するという段階から実践するという段階にいたり、極めて環境意識の高い集団であることがわかる。

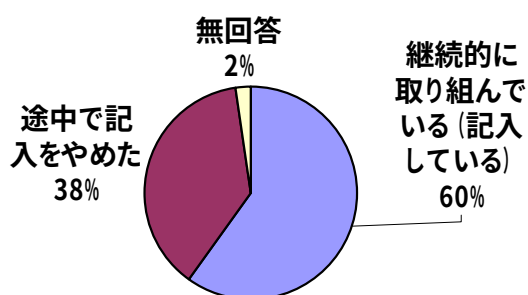


図4-19 「『地球人』のすすめ」の取り組み状況

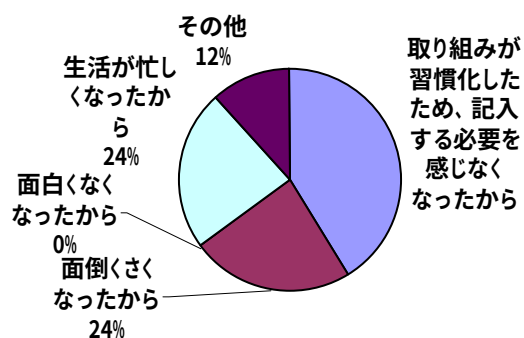


図4-20 途中で記入をやめた理由

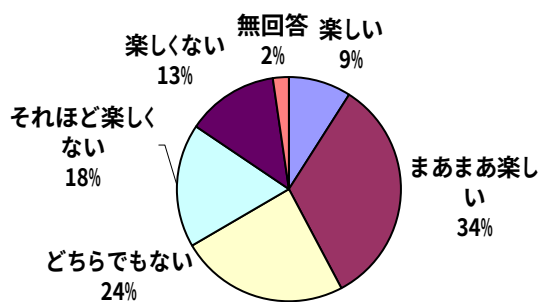


図4-21 「『地球人』のすすめ」の楽しさ

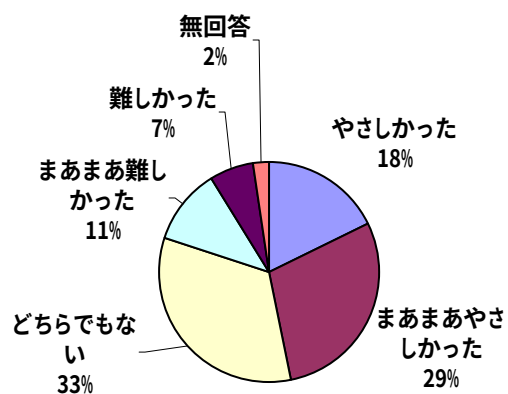


図4-22 「『地球人』のすすめ」の難易度